

情報貧国ニッポン ～課題と提言

山崎久道 著 四六判・230頁 定価(本体2,200円+税) ISBN978-4-8169-2540-5 2015年5月刊行

情報を〈蓄積－流通〉させる仕組みが貧弱な現状と採るべき情報政策を提言

- 研究者や学者が頼るべき情報源としてのデータベースや電子ジャーナルが貧弱な日本の現状と、自国での情報の蓄積と流通システム構築の重要性を指摘する、研究者による書き下ろしの書です。

日本の産業・技術の発展のためにも蓄積と流通システムの重要性を示唆

- 国家戦略として西欧型情報ストック装置をつくり、デジタルアーカイブの展開を図るべきであると、豊富な図表入りでわかりやすく説明しています。
- 日本人が軽視しがちだった「情報を整理してあとで使う」ことの意義と重要性がわかります。

著者プロフィール 山崎久道 やまざき・ひさみち

1946年生、中央大学文学部教授、博士(情報科学) 東北大学

●主著『専門図書館経営論—情報と企業の視点から』日外アソシエーツ 1999年

●編著『情報サービス論』樹村房 2012年(現代図書館情報学シリーズ5)

●論文「図書館の社会的価値を測る—研究のための序説」『中央大学文学部紀要』2014年(253号)33～42 p

…など。

〈図書館サポートフォーラムシリーズ〉について

図書館活動の社会的広報に寄与するという趣旨で1996年に創立された「図書館サポートフォーラム」の名称を冠した本シリーズは、緩やかで様々なテーマを通して、図書館活動の発展を出版面でサポートすることを目的とする。

【目次】

- はじめに—何が問題か—
 - インターネットとグーグルの革新性
 - ①インターネットの特質
 - ②グーグルがもたらしたもの
 - 情報とは何か
 - ①高まる情報の重要性
 - ②文書の重要性
 - 情報を記録し、集め、分類する
 - ①情報を記録してゆくことの意味
 - ②情報を記録する意味
 - ③情報蓄積の思想
 - データベース、電子ジャーナル、そして図書館
 - ①データベースの構築
 - ②研究と電子ジャーナルの利用
 - ③図書館、文書館の整備
 - 情報ストックの重要性
 - ①情報ストックは社会的共通資本だ
 - ②政策の問題
 - 日本人の精神構造
 - ①減点主義の横行と索引やデータベースの思想
 - ②やっぱり利益優先?
 - 情報リテラシー教育の見直し
 - ①情報リテラシーとは何か
 - ②情報リテラシーをどう教えるか
 - ③寺子屋方式による「情報リテラシー教育」の例
 - ④情報リテラシー教育で習得させるべき技術・能力
 - 情報政策についての提言
 - ①データベース構築の便法
 - ②研究者評価と英語
 - ③図書館や分類法についての教育
 - ④索引と図書館の価値
 - ⑤専門図書館の意義
 - ⑥まとめ
- 注・引用文献
あとがきに代えて
—図書館サポートフォーラム(LSF)賞のこと—
主な参考文献
索引

2016.8

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

情報貧国ニッポン～課題と提言

定価(本体2,200円+税) ISBN978-4-8169-2540-5

冊



9784816925405